

Rotary



# 白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリーテーマ

2020～2021年度クラブ目標

## 『35年目の再構築 ロータリーの源流へ』

会長 吉野敬之  
幹事 堀田一彦



# 第1660回例会

令和3年3月18日 (12:30～13:30)

### ○ソング

- 我らの生業

### ○スマイルBOX

●吉野敬之会長 (本日ホームミーティング発表をいただいた皆様有難うございました。皆様の御意見を今後の運営に反映させていただきたいと思ひます。熊澤さん名残りおしいですが再会出来る事を楽しみにしております。井上さんようこそ。)

●堀田一彦幹事 (熊澤さんおつかれ様でした。井上さんようこそ!)

●関谷亮一会員 (熊澤会員長きに渡り大変お世話様になりました。新任地において大いに活躍されます様お祈り申し上げます。ホームミーティングでは佐藤班長始め皆様に感謝致します。)

●永野文雄会員 (ホームミーティング発表者の会員さん、ご苦労様でした。熊澤会員さようなら、お元気で。井上さん早く慣れて下さい。)

●金田昇会員 (ホームミーティング第6班はとても楽しく有意義に行えました。班員みなさまで参加ありがとうございました。熊澤さん栄転おめでとうござひます。ますますご活躍下さい。井上さんようこそ!)

●根本あゆみ会員 (HM皆様お疲れ様でした。又、アジアンをご利用いただきありがとうございました。とても楽しい時間を過ごせました。)

●熊澤直紀会員 (3月末日をもちまして白河支社を離任することとなりました。温かく迎え入れて下さり本当に有難うございました。皆様の情の深さに感謝する日々でした。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。)

### ▶第1660回例会出席状況 (R3年3月18日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	47名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	61名
Ⓒ ①の出席者数	30名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	3名
Ⓕ ②の出席者数	8名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	41名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	56
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	73.2%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

## 本日のプログラム

### ■会長の時間



吉野敬之会長

皆さん、こんにちは。今日も、大変沢山のメンバーの方にご出席いただきまして誠にありがとうございます。今日は、ホームミーティングの発表ということもありまして、発表者の方々、あまりお顔を最近見てなかったなあという方もお会いできて大変嬉しく思います。ホームミーティングの意味合いといいますのは、大きく分けて二つあるかと私は思っております。一つは、やはり皆様方と懇親を深めるということだと思います。どうしても例会で毎週毎週顔を合わせていても、例会中にお話をベラベラしているわけにもいかないので、必要なことはお話されるかもしれませんが、なかなか懇親を深めるというようなお話をできる状況ではありませんし、そういった意味では少人数で、今回はコロナということもありまして心ゆくまでというわけにはいかなかったかもしれませんが、それぞれの方達がお時間を割いていろいろと忌憚のないお話ができたりする。いろいろ教を請うたりする。プライベートなお話もする。そういった中で、懇親が深まっていくということが一つの大切な目的だと思います。二つ目は、それぞれのテーマ、毎回毎回会長のほうからいろいろなテーマが出されるわけですが、そのテーマに沿ってお話をしてやはりロータリーの存在というものはどういうものなのかとか、ロータリーの成り立ちとはどういうものなのかとか、そういったところを皆さんでお話をするというのは、非常に造詣が深まる。ロータリーに対する思いというのものも、深まっていくきっかけになるのではないかなと思います。今回、わたくしがテーマとして選ばせていただいた内容に関しましては、皆様方がロータリーを自分の中のどのような位置付けで考えていらっしゃるか、これは温度差があると思うんですね。前にリーダーシップ研修会に行った時に堀田幹事と出て、あなたにとってロータリーとはという質問がありまして、福島しんたつロータリーの今、会員増強をやっている地区の委員長をやっていらっしゃる方が、一言即答で「人生です。」とお答えになりました。そういうふうに、ハイレベルでロータリーに接している方もいれば、よくわからないけれど入れられちゃったからという方もいらっしゃるし、ただそういう方達も長く続けることによっていろいろな思いとか、いろいろな経験をしてロータリーに関しての考え方、接し方というのが変わっていくんだというふうに思っております。そのためにも、やはりそういったものをまず一番自分がどういうふうなことを考えているか、先輩方、他の方はどういうふうな捉え方をしているか、その現状を知るそういう良い機会になるというふうに思っております。今日は、10班に細かく分かれておまして、10人の方が発表していただけるということで

ですので、お時間のほう、またちょっと若干押すかもしませんが、皆様方からの発表を非常に楽しみにしておりますし、またそういった中でいよいよ35周年式典まで3週間余りとなってまいりましたので、皆様方のそういった思いを結集して是非素晴らしい35周年になるように、皆様の結束を高めていきたいと思っておりますので、発表のほうをよろしくお祈いします。最後に一つ、ご報告です。先週、ちょっとご案内させていただきました。先日の福島の地震に関しまして、南湖神社が被災をされたということで、その被害に関しまして深谷ノースロータリークラブのほうで、率先して募金活動を募っていただいているということでございましたが、それが深谷市の市政だよりのほうに内容が掲載されているそうでございます。福島会長のほうから、参考にといいことで送ってこられましたので、後程皆様方のほうに幹事報告と一緒に回しますので、ちょっと黄色い枠組みをしている部分はその南湖神社に関する部分でございますので、是非お目通しをいただければと思っております。今日は、皆様の発表大変楽しみにしております。よろしくお祈いいたします。

### ■幹事報告

堀田一彦幹事

- 白河ロータリークラブ 会長 佐藤厚潮、幹事 鈴木昇治：しらかわローターアクトクラブ（仮称）設立総会開催のお知らせ
- 国際ロータリー第2530地区2020-21年度ガバナー事務所：ガバナー事務所から勤務時間変更のお知らせ
- 公財）ロータリー米山記念奨学会 事務局長 柚木裕子：ハイライトよねやま252号
- 福島県特別支援教育振興会県南支部 支部長 小河原健一：福島県特別支援教育振興会県南支部「会報35号」について（送付）
- 福島民報社：「国際ロータリー第2530地区地区大会」特集広告ご協賛のお願い
- 福島民友新聞社：「国際ロータリー第2530地区地区大会」特集新聞広告ご協賛のお願い

### ■委員会報告

#### ○35周年実行委員会

青木大会員



35周年実行委員会からお知らせをいたします。本日6時半から、白河市商工会議所の会議室で35周年実行委員会を行います。案内が少し早かったようで、返信していただいた方がまだ2名ということなので、この場でお伝えをさせていただきます。ズームでの参加も可としましたが、今回は実際に集まっての会議をさせていただきたいと思っておりますので、ズームではなく会場のほうに来ていただきたいと思っております。どうしてもズームじゃなくちゃ駄目だよという方は、携帯で繋ぎたいと思しますのでその時には連絡をください。よろしくお祈いいたします。

## ○熊澤直紀会員



皆さん、こんにちは。東京海上の熊澤でございます。ちょっとわたくし事でございますが、お時間をいただきましてお話をさせていただきたいんですけども、この度4月1日付で人事異動が発令されて、わたくしはこの地を離れるということになりました。行き先は、千葉支店の銚子支社でございます。でも、いろいろ引き継ぎの関係で3月26日が私は最終日ということになりますので、例会の参加は今日で最後ということでご挨拶をさせていただきます。後任は今、井上が参っておりますので、後程ご挨拶をさせていただきますが、これまた引き継ぎの関係で4月5日月曜日が着任日ということになりますので、引き続きよろしく申し上げます。本当に私4年間ですけど、大変お世話になりました。初めての支社長で非常に不安の中で着任したんですけども、本当に皆さんの暖かいお人柄で迎え入れていただきまして、本当に楽しく過ごすことができました。いろいろ思い出を思い出しますと、こういった例会もそうですし、イベントのクリスマスパーティーとかバーベキューもありました。直接のロータリーの行事ではないかもしれませんが、会員の方にお誘いいただいて提灯まつりとか、だるま市も白河の伝統行事に参加させていただきまして、神輿も担がさせていただきました。それから、特に一番思い出に残っているのはやはり野球愛好会の甲子園に皆さんに連れて行っていただきまして、夢のマウンドに立てたことは本当に最高の貴重な思い出になっております。本当にありがとうございました。行った先の銚子もまた支社長として赴任するわけですけども、ロータリー同じように会員になっておりまして、野球愛好会もあるということでございますので、是非そこも加盟してこの西ロータリークラブさんと対戦できるのを楽しみにしておりますので、また頑張ってもらいますので引き続き東京海上ご愛顧のほどよろしくお願いいたしますと思います。それでは、後任の井上よりご挨拶をさせていただきたいと思っております。



## ○東京海上日動火災保険株式会社

井上敬裕様



皆さん、こんにちは。今、ご紹介ありましたが、熊澤の後任で参ります東京海上日動井上と申します。私もロータリークラブの活動は初めてなもので、先程会長が仰られてたものとして、ロータリークラブというのが自分にとってどういったものなのかといったものが、まだまだ全然確立できていないような状況ですけども、その中未熟ではありますが皆さんと一緒にいろんな活動を通じて、自分にとってロータリークラブというものがどういったものを作っていきたいと思っておりますので、是非よろしく願いいたします。

## ■本日のプログラム

## ホームミーティング報告

## ○第1班

十文字光伸会員



皆様、こんにちは。第2回ホームミーティング第1班の報告をさせていただきます。本日は、書記の鶴丸会員が発表の予定でしたが、親族のご葬儀のため欠席となり、急遽新入会員のわたくし十文字が発表をさせていただきます。今回、第1班のホームミーティングは3月12日の金曜日6時半より、渡部会員経営の「タントウ」さんにて実施させていただきました。参加者は、班長の吉田充パスト会長、書記の鶴丸会員、渡部会員、高島会員とわたくし十文字です。今回のテーマとして「ロータリー活動の楽しみ方、ロータリーに期待すること」とありますが、やはりロータリーの活動を楽しむためには、いろいろと参加してみるが一番だということに結論としては達しました。今回のテーマに関して新入会員のわたくしからの意見といたしまして、ロータリーは西クラブだけの繋がりはもとより、もっと広範囲なそれこそ世界的な繋がりが期待できないかという意見を発信させていただきました。それこそ、現在はコロナ自粛中ではございますが、これから落ち着いた後の前提で過去のメーキャップなどの話題からスタートいたしました。まず、ロータリーはどここのクラブの例会にでも自由にメーキャップができ参加を拒まれないという点。現在も、埼玉の深谷ノースロータリークラブや沖縄のコザ、米沢中央ロータリークラブなどへの定期的なメーキャップ交流は知っていますが、このような姉妹クラブや既に繋がりのある交流だけではなく、もっと見識を広げることが可能ではないかという内容でした。過去には著名人で有名な東京ロータリークラブへのメーキャップをしに行ったお話や、近隣のクラブへ参加する場合の手順や選び方など、以前はこのようなメーキャップの仕方をわかるように諸先輩方と一緒に他の例会に参加するための体験会のようなものも行われたようなこともあるとのこと。メーキャップ自体を個人的にはやったことのない我々、期

の浅い会員にとっては時にイベントなどではない他のクラブへの通常例会への参加などは経験がないゆえにハードルが高くも感じてしまいますが、まずは近くのロータリークラブへのメーキャップ参加などやってみては良いのではないかと感じました。また、そこから以前におこなった植樹の活動や、現在の続いています猪苗代湖の清掃活動、青少年への各活動、29年から30周年事業へ絡んで始まったCKBチャレンジ県南ベースボールなど始まった経緯なども聞くことができました。このようなホームミーティングについても、パスト会長や経験の長い先輩方とゆっくり話すことができる機会として生かすことができますので、とても有意義な時間となりました。

### ○第2班

### 増子国安会員



皆さん、こんにちは。第2班の報告をさせていただきます増子と申します。よろしくお願ひいたします。それでは、第2班のホームミーティングの報告をさせていただきます。私も初めてのホームミーティングの参加ということで、一番初め誰かの家に40人くらい集まってやるのかと思ひまして、そしたら全然こういうふうな事だってお伺ひして、今回初めてホームミーティングに参加させていただきました。とても楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございます。ホームミーティングは3月8日に「六番車」に集まって行いました。参加者は、成井さん、宮本さん、吉野会長、齋藤さん、堀田幹事、わたくしということでございます。お酒の席ということで、久しぶりにお酒も飲めるということで、みんな高揚しながら楽しく過ごすことができましたが、成井さんからは森伊蔵の一升瓶をいただきまして、よりお酒を美味しく頂きながら会話も弾んだ時間を過ごさせていただきました。まず、一つ目の「ロータリー活動の楽しみ方」についてですが、やっぱりロータリーの醍醐味というのは、経営者同士が懇親を深め膝を合わせて語り合うことができることが一番の醍醐味じゃないのかなというふうなことの意見が沢山いただきました。今回のホームミーティングのように、少人数で気兼ねなくこういった話を語り合える場所があるというのもすごく大事なことで、なかなかいろんな活動ありますが、ロータリーの場合は年齢とか関係なく、いろんな経営してる経営者の話を聞ける場所というのも特に気兼ねなくこうやって参加できるので、そのことについてはとても素晴らしいことなんじゃないかということで、月一くらいで開催していただきたいというふうな声もございました。クラブ同士のそれぞれの楽しみ方があるというふうな事があると思いますが、白河西の場合はその活動が良くできているのではないかなというふうなことで、いろいろと若い人もそうですし先輩方もそうですが、そのどちらも交わりながら同じ会員同士としてやれてるのではないかなというふうな話を会長からいただきまして、本当にそ

ういった場所にいられるということは私も入ってまだ数か月ですけども、これから活動を楽しみにしていきたいという話をしました。まだ、入会5年以内の会員さんが沢山いらっしゃるの、その会員さんに対してはやっぱりそのことをもう少し伝えるべきなんじゃないのかなというふうな話もいただきまして、そういったロータリーの楽しみ方をこれからもっともっと新しい会員さんには伝播していきたいというふうな話のこともいただきました。本来、社会貢献活動をすることがロータリーの役割の一つということで、そのことにつきましても話をいただきまして、この前も駅前でのイベント中止にはなってしまいましたけど、ごみ拾いなんか企画していただきまして、そういった活動も私たちがそうですけど活動を自らしたいというふうなやっぱり声もあるので、そういったことをもう少し増やしていければなおそういった理念に賛同して参画してくれる人が増えてくのではないかなというふうなことで話をいただきまして、ロータリーの活動の楽しみ方ということでございました。まとめとしては、楽しみ方の最も多かった意見は会員同士の交流ということでしたけども、その中で目的や楽しみ方を入会の浅い会員さんにも知ってもらうためにいろいろ伝播することと、活動をしていくことがこれからの楽しみ方の一つとしてしていきたいというふうなことです。期待することといたしましては、会として会がまとまり社会貢献活動を更に広くしていきたいというふうな声もあります。ロータリークラブの本質を理解するためには、時間がかかるのかなと思ひます。なかなか自らそういった活動を積極的にするというふうなことは凄く難しいという中で、個人として真に社会貢献するために活動を深めていきたい。年を取ってからやっと実感することはあるが、それをやっぱり若いうちから思ってもらえるようなことを期待するというふうなことでございます。今後期待することの中で、海外での活動もこれからコロナが終わったらしていくことも一つの醍醐味ではないのかなという話もいただきました。以上でございます。大変勉強になる時間ありがとうございました。

### ○第3班

### 吉成真五郎会員



皆さん、こんにちは。第3班のほうから発表させていただきます。発表者は吉成です。よろしくお願ひいたします。第3班では、3月12日に「タントゥ」で、出席者が、山口さん、遠藤さん、石部さん、車田さん、私の5名のホームミーティングとなりました。最初に、「ロータリーの活動の楽しみ方」というところなんですけども、まず山口さんからのご発言でロータリーを楽しむかどうかは自分次第であると。積極的に出席して楽しむというスタンスで自分はやっているというお話でございました。なかなか最初、ロータリーに馴染めなかったというご発言だったんですけども、2~3年が過

ぎたところでホームミーティングをきっかけとして会に溶け込むことがすごくできたと。自分の居場所というのが感じる事ができたのがこのホームミーティングであったというお話でした。その後、会長もやって大変だったけれども成長出来て友人もできたというところがとても楽しめたというお話でございました。次に、遠藤さんからだったんですけども、自分も最初は凄く居心地は悪かったんですけども、会長もちょっと大変だった。自分の楽しみとしては例会の食事が美味しいとすごく楽しみだという。東白川ロータリーでは、第1例会では鰻が毎回出るというお話で、私もちょっとメーキャップしたいなと感じました。東京クラブのほうの帝国ホテルでの例会に20人くらいでメーキャップをされて、遠藤さんの隣に座られたのが日産自動車の会長さんが隣に座っていたというお話を聞きました。これも私もそういう場に行って経験してみたいなということを感じました。また、一番面白かったのはロータリーの100周年でカナダとサンフランシスコを訪問して、いろんな経験ができてとても楽しかったというお話でした。車田さんのほうから、先程もちょっと話してありますが野球が楽しいと。甲子園のグラウンドでプレーができるのは、ロータリーぐらいではないのかというお話ありました。石部さんのほうからは、やはり毎回出席を心掛けて交流を深めてくというのが楽しみ方だというお話でした。私は今回はホームミーティング初めてだったんですけども、なかなかこういうふうに皆さんと親しくお話する場がなかったので、とてもいい経験ができました。また今後も、ホームミーティングには積極的に参加していきたいというふうに感じました。

#### ○第4班

#### 青木大会員



第4班のホームミーティングのお話をしたいと思います。第4班は、3月5日に行いました。参加者が、中目パスト会長。鈴木孝幸エレクトは当日キャンセルをしましたので来ませんでした。佐川京子会員、前原パスト会長、松永会員と私の計5名でやってまいりました。まず、開口一番このテーマについて何も話ができないテーマだなということから始まりましたので、何も話せずにほとんど終わったみたいのところがあったような気がします。そうは言いつつも、何も話ができないんじゃないくて何でも話していいテーマなのかということでも話を続けていったような気がします。ロータリーを継続していくことは楽しんでることなのではないのかなと。地区では活動を続けていないクラブも沢山、活動を続けていないとかコロナになって例会自体を開催してないようなクラブも沢山あるということで、白河西はこういった形で毎回集まって例会をしているので、非常に活動している意義を感じてる。また、活動してないところはどんどんその活動してなくてもいいんじゃないのかというふうな意識になっていって、退会者も出て

くるんじゃないのかなというふうな話もされてました。また、白河に知人も少なかったんで、その会に入ってこの白河の地域に知人を沢山増やすことができた。サラリーマンを長くやってた人はロータリーは新鮮だったと言っていました。期待することとしては、例会は続けてほしいということがありました。去年は、早い段階に出来なくなってしまったので非常に悔しい思いをしたと言った方がいました。それと、白河西はコロナが出たというふうな噂をされて、それでもよく例会やってるねと周りが言ってるっていうところがあったけども、元気にやりますよという、しかも出てませんよというのを声高々にして皆さんからも伝えていただきたい。ここに参加してた人が疑われてたわけではないと思いますけど、そんな声として上がってありました。会場は、私のところの日本料理「楓」でさせていただきまして、久しぶりに夜の宴会をしたものですから、何があるのかよくわからずに時間が過ぎていったというふうな形になります。飲み会はやっぱり回数はそんなに多くなくても、多少はあると心の潤滑油になるんじゃないのかなというふうなホームミーティングをして感じました。

#### ○第5班

#### 村上堅二会員



皆さん、こんにちは。第5班のホームミーティングの発表をさせていただきますと思います。まず、班長は居川会員。書記はわたくし村上。メンバーは、安部会員と諸橋会員の4名で3月13日、会場は根本あゆみ会員の「アジア」のほうで開催させていただきました。今回は、三瓶会員が諸事情でキャンセルになり、鈴木信教会員がお葬式が急遽入っちゃったということで残念でしたが今回は4名で、逆に中身の濃い楽しいホームミーティングができました。今回のメンバーは非常にロータリー歴の長いメンバーが多く、わたくしが一番歴が浅くロータリーの歴史からいろんなお話を聞かせてもらったことは大変プラスになりました。まず、テーマ1のほう「ロータリー活動の楽しみ方」ということで、安部会員のほうからロータリーに出ることで、外出の機会を作ってもらってるということでありました。なかなかコロナの中で出る事態が少ないので、そういった意味では出る機会が作ってもらえることが非常に助かるという話がありました。それから、各種業界の方々と会える。そして、話を聞けるということは大きな財産であり、何気ない会員の話からチャンスを貰ってるということでありました。そして、これからは気軽に楽しめる会として参加し続けたいというふうな話でありました。続きまして、諸橋会員からは同様に業界の専門家と気軽に話ができることで、商売のチャンスをもたらえるということでもあります。それから、ロータリーを楽しめるように仕事の段取りをこれから検討していきたいという話がありました。多分、諸橋会員もそろそろ会長候補なのかなとしみじみ痛感いたしま

した。それから、居川会員のほうからは、人と話を聞けることが一番大切であると。週に一回、みんなの顔が見れることがやはり楽しみであるのかなというふうな話でありました。これは本当にロータリーの基本である仲間づくりには最適であるという形でお話をいただきました。それから、わたくし皆さんの話を聞けるということが一番のチャンスであるということが感じました。それから、わたくしはこの会に入って特に子供たちのために幾つかの事業をさせていただいたことも楽しい思い出でありました。続きまして、テーマ2の「ロータリーに期待すること」。順番ちょっと変わりました、わたくし村上からロータリーに入会しているんな事業をさせていただきました。そして、ロータリーの力でボランティア活動にもいろいろ参加できたこと素晴らしかったなと思います。これからも、そういった活動に参加できればなと思いますということでお話をさせていただきました。諸橋会員からは、国際ロータリーの活動で世界の貧困と災害の方々が救われているということ、その事実を知ったということです。これはロータリーという団体が活動していることで、その一翼を私自身が自分自身が携われるということは素晴らしいし、これからも困っている方々にロータリーとして手を差し伸べることを是非していきたい。そのための活躍をしていきたいという話がありました。ちょっと日頃とは違う諸橋君の一面だったので、ちょっとびっくりしたんですけども、そういった感じで非常にロータリーというのはそういった団体なんだよということを思い知らされました。そして、居川会員のほうからは石田会長の幹事としてロータリーの海外旅行にも随分参加されたということでお話をされました。特に、ロータリーのいろんな会合とか旅行というのは夫婦で参加することが多いということで、これから年も取ってくるとなかなか夫婦で行くことがないので、皆さんそういった形でそれを楽しみにしていただければいいのかなというふうな話がありました。居川さんが海外旅行ちょっと変な感じはしますけどね。一応、夫婦で行きたいなという話だということをお伝えしておきます。それから、安部会員からはもう一つ、各専門家がこの会にいるので、いろんな話を例会で聞くことも一つの楽しみかなというふうに言われました。それともう一つ、この西ロータリーって非常に年齢もいろいろで上から下までいろいろいます。逆にいうと、安部会員なんかだと若い方と会うと非常に刺激を貰えるという話があるので、例会の時にはなるべく年齢をシャッフルして、そういった形の方と話ができる機会を作っていただければなというふうに思いました。最後になりますけども、今回のホームミーティング参加してロータリーの楽しみ方を再認識させてもらったり、そしてこれからロータリーの可能性を見い出せることができました。班長の居川班長も会員の「アジア」のお店で楽しいホームミーティングになり、いろんな気付きを貰えた楽しい会になりました。本当に感謝いたします。以上で、5班の報告といたします。

## ○第6班



## 大住由香里会員

皆さん、こんにちは。第6班のホームミーティングの報告をさせていただきます。6班は3月16日、「アジア」でおこないました。メンバーは、班長が金田会員、書記がわたくし、そのほか熊澤会員、根本会員、運天会員、矢田部会員の6名と、熊澤会員の後任の井上様がオブザーバーとして参加してくださいました。今回のホームミーティングには、事前に金田班長より課題が出まして、テーマをそれぞれにいただいて3分間でスピーチを各自行うという形で始まりました。それぞれ、矢田部さんからは財団の寄付とDDFの豆知識ということで、3分で説明することは難しいけれども経験を多くしているのでいつでも聞いてきてほしい。年代を超えて活動できるロータリーなので、そういった意味では頼ってほしいという話がありました。熊澤さんのほうからは、ロータリークラブでの思い出という形で先程もありましたが、提灯まつりやだるま市という歴史に触れたこと、また甲子園のマウンドに立てたことなどで活動に参加されたことなどをお話いただきました。根本さんのほうからは、クラブ活動と仕事の両立についてという形と、運天さんからはこれからのロータリー活動に臨むことという形で、運天さんのほうは白河に住んで30年は経つんだけど、以前は高校の同級生とか知り合いのいない中でいろんな団体に所属したということ。そして、いろんな個性が特徴があったんだけど、ロータリーほど家族と近い場所で活動している団体はないのではないかと。家族を大切にしているのではないかとのお話をいただきました。私のほうからは、女性会員の参加の問題点と拡大のためにという形で報告させていただいています。あと、井上さんの自己紹介という形でそれぞれお話をいただいた後、金田班長よりまとめのスピーチで、ロータリーの目的の一つである「入りて学びて、出でて奉仕せよ」という話がありまして、その中の学び、何を学ぶかというところで経営学ではなく経営者としての渋沢栄一氏のことについて、会津の商工会議所の週報に記載されていた渋沢栄一氏についてのコラムを読み上げ形式で紹介いただきました。渋沢栄一氏の包容力といった内容で、こういったものがロータリーのメンバーにも必要になるのではないかとのお話をいただきました。いろいろと考えさせられるものでした。あと根本会員がスピーチの中で、なかなか今出席することもできない状況であってジレンマだという話がありました。逆に、私なんかは今年出席委員長という立場をいただいて、意地でも出席するぞなんて思っているんな形があるという中で、金田さんのほうから職業奉仕を一生懸命することもロータリーとして大切である。出席が厳しくても何らかの形で参加することはできる。利益を出して金銭的な参加という形もあるという話をいただきまして、ロータリーに入るということだけでも十分貢献はできるので、目的が漠然としてい

たとしても入りて学べば良いとの解釈の方法も教えていただきました。ロータリー会員が50人いれば、それぞれの生きてきた年数をかけると莫大な経験値になる。それぞれの経験値をそれぞれが学んでインプットして、それをフィードバックするために学ぶ機会がこういったロータリーであるのだというお話もいただいています。こういったスピーチの内容からの会話の広がり、皆さんの考えとかロータリーの意義、在り方をしっかり学べたように思えました。今回のミーティングの中に、今回のテーマであった「ロータリー活動の楽しみ方」とか「期待すべきこと」といったワードは一切出なかったんですけども、結果学ぶことや活動すること、そして家族を大切にすること、寄付することなど等といったロータリーの楽しみ方が浮き出てきて、期待することとして学びをフィードバック出来る人に育つこととか、例会のデジタル化等を検討していくなんていう話も出たんですけども、そういった時代に合った柔らかい脳を養うということが浮き彫りになったような気がした会でした。私ちょっと一足先に席を外させていただいたんですけども、帰りながらこういった形で上手く進行される金田さんにちょっとおーなんて胸キュンキュンさせながら帰ってきたところだったんですけども、最近ズーム研修とかズーム会議とかそういう形が慣れてきたところで、こういった皆さんの生の声を聞くという感動に触れるとか、そういう会は心に響くなあなんて思いながら、やっぱりいいなあなんて思いながら帰ってきた会でした。本当にありがとうございました。

#### ○第7班

#### 兼子聡会員



皆さん、こんにちは。ズームニートでなかなか顔を見せることができなかつたんですけども、今日は発表がありましたので会場のほうに来させていただきました。第7班は昨日、「タントゥ」にてホームミーティングを行いました。班長が20年目の佐藤幸彦さんで、34年目の関谷会員、19年目の池田会員、そして島田会員は来れなかつたんですけども、9年目のわたくしの4名で開催いたしました。最初、班長が一人一人にテーマでこうだどうだと話を振っていたもんですから、なかなかやはり上手く喋れなくて、途中から関谷さんから差し入れをいただいた日本酒と焼酎を飲むとやっぱり滑らかな口になって、いろいろと討論じゃないんですけども話が出てまいりました。その中で印象的だったのが、先程も会長の話の中でどこかの班に出たようでございますけども、やはりうちのメンバーからも人生の中のクラブ活動であり、生きていくためのオアシスだという意見がございました。なかなか深い経験値のない方でないと発想できないなと思ったところがございますし、もう一つが適当というわけではないんですけども、やはり適度の活動していくことによって活動が長く楽しく続けられるし、いろいろ

なことに期待してしまうとやはりその分レベルが上がってしまうので、楽しく没頭して集中してできれば活動が楽しくなっていくんじゃないかという意見もございました。その中で、35年間で毎年進化を続けてきている会であるという意見もございましたし、今後の会の展望としては会員卓話を増やしてはどうかという意見も出ました。これは15分とか20分とか長い時間じゃなくて、5分とかそういった時間の中では是非皆さんが経験している中の失敗した話。成功した話じゃなくて失敗した話、失敗してそれをどうして乗り越えたかという話を聞ければいろいろとためになるのではないかという話も出ておりました。是非、プログラム委員長さんには来年以降、参考にさせていただければと思います。そして、最後に班長さんから「人生万事塞翁が馬」という言葉をいただきました。今、コロナ禍でなかなか経済的にも、また精神的にもどん底のほうにいるのかなと思いますけれども、良いこともあれば悪いこともある、悪いこともあったんでこれからは良くなっていくだろう、そういったものを念頭にしながらロータリー活動を進めていきたいですねということでその会は閉まりました。お開きかと思っただけですが、ここからがなかなかホームミーティングの楽しいところで、昨日は厚生病院でコロナが発生してバタバタしている中、班長がどこかに電話をしましてノンアルコールの大先輩の関谷さんの車に私と池田さんと幸彦さんが乗りまして、池田さんのご自宅にお邪魔させていただきました。リニューアルされたそうで大変おしゃれな家だったんですけども、そこに私と幸彦さんと池田さんで行きまして、いろいろとまたそこでお話をさせていただきまして、奥様も交えて。そしたら今度、班長の奥様も来ていただきまして、本当に素敵な80インチのもの凄いでっかいテレビがあって、リビングがあって、素敵なベランダがあったので、じゃあ次回のホームミーティングはここでやろうねという話で第7班のホームミーティングは終了しました。大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

#### ○第8班

#### 須藤正樹会員



それでは、8班の報告をいたします。8班は昨日17日、6時半から「タントゥ」で開催いたしました。鳴島班長と、会員としましては、永野会員と佐藤清作会員、仁平喜代治会員と大竹憂子会員とわたくしの6名で開催いたしました。初め「ロータリー活動の楽しみ方」ということで話しました。楽しみ方としましては、例会に参加してコミュニケーションを取ろう。あとは気持ちの問題じゃないかという話もありましたけども、その中この楽しみ方の問題というか、これはコロナ禍での楽しみ方なのか普通の楽しみ方なのかどっちなんだという質問があったんですけども、答えがなくそのまま話が進みました。やっぱり楽しみ方の一つとしましては、会って顔を見て顔色どうかとか、そういうふう

なの楽しいんじゃないかという話がありまして、オンラインもいいんですけども、やはり人と人が会って楽しいんじゃないかという話がありました。他には、今はコロナ禍でできないですけども実行に向けて計画を立てて、それができないじゃないかという話に向けて頑張ろうという気持ちを持てば楽しめるんじゃないかという話もありました。最後に、ロータリーの楽しみ方としまして、佐藤清作会員はこの35年間これたのは友達を作るという気持ち一つで35年やってこれたんだという言葉が最後に印象に残りました。あとロータリーに期待することは、できないとかじゃなくてやっていくという気持ちが大切なんじゃないかとか、あと3ロータリー、今白河には3つありますが、一つで活動できれば何かいい事ができるんじゃないかなという話です。あと、米沢とか深谷とかの交流がこのコロナ禍でできない中で、できればいいよねという話がありました。この数年、全体で奉仕できないですよという話になりまして、みんなでできればいいよねという期待がありました。あと、周年から周年まで、要は30周年から40周年とかそういうふうな周年から周年までの継続事業が何かしら一つあれば、なんかずっと続いてそれが歴史となって続いていければいいかなという話が出ました。それで、うちの班はお酒が出ずお茶でやりましたけども、それでもきっちり1時間で終わらせたいんですけども、このホームミーティングってやっぱりお酒飲まなくても、こうやって少ない人数で顔を合わせて喋れることが本当に楽しみなのかなと思いました。昨日出まして、佐藤清作会員とちょっと距離が縮まったのかななんて思って、いい気分です1時間で帰りました。

○第9班

瀬谷隆志会員



それでは、第9班のホームミーティングの発表をさせていただきたいと思えます。実施日時は、3月8日11時、ズームにておこないました。参加者は、鈴木班長はじめ、阿部さん、藤田さん、書記のわたくしの4名で実施いたしました。テーマ「ロータリークラブの楽しみ方」というところで、積極的に関わること、自ら進んでやること、イベントがあると参加しやすいというお話がありました。とにかく、まず参加してみることに。自分が前のめりに関わっていくことが、ロータリーを楽しんでいくことに繋がっていくんだということを、先輩のお言葉から学ばせていただきました。続きまして、二番目の「ロータリークラブに期待すること」というところですが、仕事へのフィードバック、ここにいる仲間繋がりから仕事に生かしていくことが今後の地域の貢献に繋がっていくのかなというお話がございました。続きまして、先程も言いましたが地域の貢献できるような活動をしていくことが大事だなというお言葉をいただきました。わたくし心に残ったといえますかあるんですが、ロータリークラブの楽しみ方の部分で、やらな

くてはならないという立場にいることで積極的に関わることができるという話を聞いた時に、今回わたくし入会以来初めての例会参加なんですけど、今回書記で発表という立場をいただきまして、こういう参加することになりましたので、これも何かの一つのきっかけとして自ら前のめりに参加していきことができればいいのかと、非常に刺激になるホームミーティングでした。

○第10班

横田俊郎会員



皆さん、こんにちは。10班の報告をさせていただきます。開催日時は、3月10日夕方の6時からということで、参加者が藤田班長、わたくし、櫻岡会員、山田会員、緑川会員の5名でズームで開催いたしました。一番目の「ロータリー活動の楽しみ方」につきましては、やはり卓話に興味があるということ。あとは、お食事が一つの楽しみだというご意見が出ました。また、いろいろな人との出会い、人脈ができるということも楽しいという意見もありました。そして、会員の方との共通の趣味を見つけたりして習慣化すれば、非常に楽しみになるんじゃないかということで、もう一つはなるべく出れる範囲で無理なく出席することで長く続けることが大事なのではないかという意見が出ておりました。二番目「ロータリーに期待すること」ということに関しましては、地域貢献ということがございまして、特に35周年という節目の年でありますので、寄付といったような形で貢献するということが大事なのではないかという意見が出ておりました。

